### evtctxadd

入力データが条件式と一致する場合、指定したキーでイベントコンテキストを生成します。

#### 構文

evtctxadd dynamic=t key=KEY\_FIELD CONDITIONAL\_EXPR

または

evtctxadd [expire=INT{mon|d|h|m|s}] [maxrows=INT] [timeout=INT{mon|d|h|m|s}] topic=STR key=KEY\_FIELD CONDITIONAL\_EXPR

必須パラメータ

**dynamic=BOOL**

入力レコードから topic、expire、timeout、maxrows を受け取り、動的に使用する機能（デフォルト: f）

* t：入力レコードから動的に topic、expire、timeout、maxrows を受け取って使用します。dynamic=t の場合、topic、expire、timeout、maxrows オプションは同時に指定できません。
* f：使用しません。

**topic=STR**

イベントコンテキストの名称（トピック）。トピックはインメモリデータベースのテーブル名と同様の役割を持ちます。dynamic=t の場合、このオプションは指定できません。

**key=KEY\_FIELD**

キーフィールド名。イベントコンテキストを区別するためのユニークキーをキーフィールドに保存します。

**CONDITIONAL\_EXPR**

イベントコンテキストを生成する条件となる式

オプションパラメータ

**expire=INT{mon|d|h|m|s}**

イベントコンテキストの削除時点を mon（月）、d（日）、h（時）、m（分）、s（秒）単位で指定します。イベントコンテキストが生成された後、指定した時間が経過するとコンテキストを削除します。expire が設定されている場合、イベントコンテキスト条件式 CONDITIONAL\_EXPR に一致する入力データがあっても有効期限は延長されません。dynamic=t の場合、このオプションは指定できません。

**maxrows=INT**

イベントコンテキストに保存するレコードの最大件数（デフォルト: 10）。dynamic=t の場合、このオプションは指定できません。

**timeout=INT{mon|d|h|m|s}**

イベントコンテキスト条件式 CONDITIONAL\_EXPR に一致するイベントが受信された時点から、指定した時間が経過するとイベントコンテキストを削除します。mon（月）、d（日）、h（時）、m（分）、s（秒）単位で指定可能です。dynamic=t の場合、このオプションは指定できません。

#### 使用例

**トランザクション送信後、応答受信まで10秒以上経過した場合にタイムアウトを発生させる**

evtctxadd topic=txmatch key=txkey timeout=10s type == "send"| evtctxdel topic=txmatch key=txkey type == "recv"

上記のクエリは、以下のようなイベントコンテキストの生成・削除コマンドで構成されています。

* evtctxadd：**type** フィールドの値が send の場合にイベントコンテキストを生成
* [evtctxdel](https://docs.logpresso.comnull)：**type** フィールドの値が recv の場合にイベントコンテキストを削除

両コマンドとも、イベントコンテキスト条件が発生した際、トピックである txmatch とイベントコンテキストのキーフィールド **txkey** を組み合わせてイベントコンテキストを区別します。

次のようなイベントデータが入力された場合を考えます。

json "{'txkey':'001122', 'type':'send'}"json "{'txkey':'001122', 'type':'recv'}"

最初のデータが入力されると、イベントコンテキストが生成されます。2番目のデータの入力タイミングによって、異なるイベントが発生します。

* 10秒以内に入力された場合、イベントコンテキスト削除（EventCause.REMOVAL）イベント
* 10秒経過後に入力、または入力がない場合、タイムアウト（EventCause.TIMEOUT）イベント

発生したイベントコンテキストの削除原因に応じて、後続コマンドで異なる処理を実行することができます。